

令和6年度シラバス(国語)

学番21 県立阿賀黎明高等学校

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年(学類)	1学年
使用教科書	『高等学校 現代の国語』(数研出版)				
副教材等	『アシスト常用漢字』(数研出版)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①自分と社会の関係性を見つめ、他と協働しながら取り組む力を育成します。 ②複雑化する社会や地域に関心を持ち、様々な考えを受け入れる力を育成します。 ③好奇心をもって自ら学び続け本質を見極めようとする姿勢と力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①あらゆる進路に対応できるよう3つのカリキュラムを設定します。 ②少人数制により個々にあったきめ細かな指導を行います。 ③地域と連携し、地域資源を活用した教育活動を行います。 ④生徒が興味をもった題材を地域の大人が伴走しながら探究するプロジェクト学習に取り組みます。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---

3 指導計画

月	単元	教材又は項目	領域	学習活動(指導内容)	評価方法	時間
4		「論理的ということ」 野矢茂樹	読むこと	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて把握する。 ・筆者は、「論理的」とあるとはどのようなことだと考えているか、理解する。 ・筆者が「論理的」でなければならないと考えているのはなぜか、理解する。	発問評価 小テスト 定期考査 振り返りシート	4
	書き言葉の技術	文章構造を理解する	読むこと	・文章における文と文、段落と段落の関係を知る。 ・文章の一貫性を高めるための工夫を理解する。	発問評価 振り返りシート	1
5	対比の構造	「水の東西」 山崎正和	書くこと	・日本と西洋の「水」に対するとらえ方の違いを、対比表現に着目して理解する。 ・「水」の他に、日本と西洋とで感じ方や考え方の違いを感じさせるものをあげ、各自やグループで考察し、文章を書く。 ※1学期中間考査	発問評価 発表・報告 小テスト 定期考査 振り返りシート	6
	書き言葉の技術	要約をする	書くこと	・文章の要点を的確に捉える。 ・文章の構造を意識してまとめる。	発表・報告 振り返りシート	2
6	一般論と主張	『『わらしべ長者』の経済学』 梶井厚志	読むこと	・一般的に常識とされている事柄に対して、筆者がどのような主張をしているのか読み取る。 ・『わらしべ長者』の「男」がした具体的な経済活動を読み取る。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。	発問評価 小テスト定期考査 振り返りシート	6
	実用の文章	「非言語コミュニケーション」 末田清子	書くこと	・文章と図を読んで、非言語メッセージの特徴やその効果について考える。 ・文章と資料が示す内容をあわせて理解し、具体的事例を用いて考えを深める。 ※1学期期末考査	発問評価 発表・報告 定期考査 振り返りシート	6
7	話し言葉の技術	情報の聞き取り方	話すこと 聞くこと	・目的に応じて情報を聞き取る。 ・大意を聞き取る方法のスキミングや具体的な情報を探す方法のスキミングに取り組む。 ・復唱と聴写に取り組む。	発表・報告 振り返りシート	4
8	具体と抽象	「ものことば」 鈴木孝夫	書くこと	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・具体と抽象の対応をとらえながら読解する。 ・日本語と英語の単語を比較し、認識される対象にどのような違いがあるかを調べる。 ※2学期中間考査	発問評価 発表・報告 小テスト 定期考査 振り返りシート	8
9				書き言葉の技術	比較する	読むこと
10	比較する	「絵を前に思いをめぐらす」 榎木野衣 「単純と複雑」 齋藤亜矢	話すこと 聞くこと	・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 ・芸術鑑賞についての二つの文章の内容を参考に、自身の絵の見方について話し合う。 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理する。	発問評価 発表・報告 小テスト 定期考査 振り返りシート	4

11	書き言葉の技術	論証する	読むこと	・論証における根拠の重要性を理解する。 ・論証の方法を確認する。	発問評価 振り返りシート	2
	視野を広げる	「科学コミュニケーション」 岸田一隆	読むこと	・筆者の考え方に対する自分の意見を、具体例とともに説明する。 ・筆者の最も言いたいことを的確におさえて、要約をする。 ・筆者の表現を読み解き、その主張を理解したうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べる。 ※2学期期末考査	発問評価 小テスト 定期考査 振り返りシート	6
	実用の文章	資料を分析して考えをまとめる	書くこと	・複数の資料から適切に情報を読み取る。 ・資料の内容をふまえて、自分の暮らす地域の課題について考える。 ・自分の住む地域の再生・活性化の具体例を調べて、案を考える。	発表・報告 振り返りシート	3
12	視野を広げる	「他者を理解するということ」 鷲田清一	話すこと 聞くこと	・筆者の主張をふまえた上で他者と自分との関係性について自分の意見を持つ。 ・文章中の表現について、文章の論理の展開を捉えて説明する。 ・本文中の具体例を通して、「わかろうとする姿勢」とは何かを考える。	発問評価 小テスト 定期考査 振り返りシート	8
	1 2	思考を深める	「時を編む人間」 田口茂	書くこと	・「時間はどのように『ある』のか」ということについて、筆者の考えをまとめる。 ・「時間」にまつわる慣用表現や格言などをあげて、「時間」とはどのようなものか、それぞれで定義する。 ・「要約をする」で学習したように、文章の要点を的確に捉えて要約する。 ※学年末考査	発問評価 発表・報告 小テスト 定期考査
3	表現の実践	レポート プレゼンテーション	話すこと 聞くこと	・出典を明示して文章や図表などを引用し、レポート書く。 ・作成したレポートを、プレゼンツールを使用して発表する。	発表・報告 振り返りシート	4

話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	合計
20	30	20	70

「1単位時間は50分」

#### 4 評価の観点の趣旨

観点	(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばしている。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高めている。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 ・進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

#### 5 評価方法

観点	(1) 知識・技能(30%)	(2) 思考・判断・表現(35%)	(3) 主体的に学習に取り組む態度(35%)
評価方法	・小テストや定期考査の評価 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述	・小テストや定期考査の評価 ・授業中の発言、発表やグループワークの取り組み ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認	・授業中の発言、発表やグループワークの取り組み ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述

#### 6 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。授業では、基礎・基本を学び、実際に話したり書いたりする学習活動を行います。普段の生活の中でも学習して身につけた国語の能力を、積極的に使い、応用力も高めていきましょう。